



新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます

余市町長 齊藤 啓輔



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

令和4年の新しい年を皆様とともに迎えることができましたことを大変うれしく思います。

私が行政の舵取りを担わせていただいてから、早や3年と4か月余りが経過し、任期も残すところあとわずかとなり、まさに光陰矢のごとしを実感しています。

この間、町議会や町民の皆様の深いご理解を賜りましたことに対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症拡大からほぼ2年が経過しているところですが、皆様の感染拡大防止へのご理解とご協力、更にはワクチンの接種により、出口の見えない閉塞感を抱えていた生活にもようやく少しずつ光が見え始めてきたところではないかと感じています。

しかしながら、新たな変異株の発生など、世界中では未だ多くの人々が先の見えないウイルスとの戦いを続けており、今後も予断を許さない状況が続くと考えられます。

新型コロナウイルスのワクチン接種に関しては近隣4町村の首長や余市医師会との連携による地域内でのかかりつけ医による分散接種、更には余市協会病院、北星余市高校のご協力のもと、集団接種についても迅速に行うことができました。

関係者の皆様、とりわけ医療従事者の方々には、感染への不安や緊張の中日々の業務に従事していただいていることに敬意を表しますとともに、そのご尽力には心から感謝を申し上げます。

本町としましても、新型コロナウイルス感染症対応を喫緊の最優先課題として、人的・予算的な行政資源を今後も引き続き注力していきたいと考えています。

さて、コロナ禍の反面、現在日本社会におけるデジタル化の波が加速しています。

D X（デジタルトランスフォーメーション）など、あらゆる分野にIT化の必要性が取り上げられ、もちろん我々行政にとってもそれは例外ではなく、業務の継続性の確保や事務の効率化など、たくさんの課題に取り組んでいかなければならないと感じています。

行政事務はどんどん高度化・複雑化していく中で、昨年は申請書等の押印見直しによる「ハンコレス」に取り組みましたが、今後はより一層の「ペーパーレス」化や、役場に来なくても手続きができるような「来庁レス」化など、自治体DX化に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

デジタル化を通じて行政の効率化だけでなく、皆様の利便性も向上させることができれば、高齢化・人口減少社会に対応した課題解決の一つにつながると確信しています。

最後に、これから本格的な冬が到来しますが、皆様方におかれましては十分に健康にご留意いただきながら、新しい年が幸多き年となるよう心からお祈り申し上げまして年頭のご挨拶といたします。

最後、これから本格的な冬が到来しますが、皆様方におかれましては十分に健康にご留意いただきながら、新しい年が幸多き年となるよう心からお祈り申し上げまして年頭のご挨拶といたします。

の不安や緊張の中日々の業務に従事していただいていることに敬意を表しますとともに、そのご尽力には心から感謝を申し上げます。

本町としましても、新型コロナウイルス感染症対応を喫緊の最優先課題として、人的・予算的な行政資源を今後も引き続き注力していきたいと考えています。

さて、コロナ禍の反面、現在日本社会におけるデジタル化の波が加速しています。

D X（デジタルトランスフォーメーション）など、あらゆる分野にIT化の必要性が取り上げられ、もちろん我々行政にとってもそれは例外ではなく、業務の継続性の確保や事務の効率化など、たくさんの課題に取り組んでいかなければならないと感じています。

行政事務はどんどん高度化・複雑化していく中で、昨年は申請書等の押印見直しによる「ハンコレス」に取り組みましたが、今後はより一層の「ペーパーレス」化や、役場に来なくても手続きができるような「来庁レス」化など、自治体DX化に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

デジタル化を通じて行政の効率化だけでなく、皆様の利便性も向上させることができれば、高齢化・人口減少社会に対応した課題解決の一つにつながると確信しています。

最後に、これから本格的な冬が到来しますが、皆様方におかれましては十分に健康にご留意いただきながら、新しい年が幸多き年となるよう心からお祈り申し上げまして年頭のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます

余市町議会議長 中井 寿夫



希望に満ちた令和4年の新春を迎え、心からお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日ごろから議会活動に対する温かいご理解とご支援を賜り、町議会を代表し厚くお礼を申し上げます。

顧みますと昨年は、新型コロナウイルス感染者が増加し、本町では、近隣町村や医師会と連携のもとワクチン接種が比較的スムーズに進んだところであります。

今後、順次、3回目のワクチン接種が進んでいきますが、いまだ完全なる終息が見えない中、三密の回避やマスクの着用、手指消毒など、基本的な感染予防行動に心がけ、一日も早く、日常が取り戻され、各種行事やイベントの開催や消費の回復により地域経済が早急に活性化されることを強く望んでいるところであります。

さて、国においては、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策が定められ、国民不安に 대응するため、新型コロナウイルス感染症の予防や早期治療までの強化などの「新型コロナウイルス感染症の拡大防止」、感染症の影響を大きく受けた分野における需要喚起の取組などの「ウィズコロナ下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え」、科

学技術立国の実現やデジタル田園都市国家構想、また、経済安全保障の抜本的強化や安心と成長を呼ぶ人への投資強化などの「未来社会を切り拓く新しい資本主義の起動」、国民の命や平和な暮らしを守る「防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保」の4つの柱で成長と配分の好循環を図るものであり、その実現について期待しております。

本町では、昨年12月に令和4年度から始まる第5次余市町総合計画が議会に提案されました。多様化する町民のニーズに対し本町にある資源や強みを最大限の生かした長期的な街づくりのビジョンとなるよう、慎重に審議を進めて参ります。

議会といたしましても、人口の減少や少子高齢化が進む中、その役割は今後益々重要となってきますが、行政の諸課題の解決に向けて積極的に取り組み、町民の代表として議員一同全力を挙げてその責務を全うしていく所存でありますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が町民の皆様にとりまして、健やかで幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。